

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】令和 2 年 3 月 5 日 (2020.3.5)

【公開番号】特開 2019-57945 (P2019-57945A)  
 【公開日】平成 31 年 4 月 11 日 (2019.4.11)  
 【年通号数】公開・登録公報 2019-014  
 【出願番号】特願 2018-237519 (P2018-237519)  
 【国際特許分類】

H 0 4 L 12/58 (2006.01)

G 0 6 F 11/36 (2006.01)

【F I】

H 0 4 L 12/58 1 0 0 F

G 0 6 F 11/36 1 9 2

【手続補正書】  
 【提出日】令和 2 年 1 月 27 日 (2020.1.27)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

電子メールに適用する中継制御ルールを複数記憶する記憶手段を備える情報処理装置を、

前記記憶手段に記憶された中継制御ルールを電子メールに対して適用することで、前記電子メールに対する中継制御テスト処理を実行するテスト処理手段と、

前記テスト処理手段により中継制御テスト処理が実行された電子メールについて、当該電子メールに適用された中継制御ルールを示す情報と対応付けて表示する表示制御手段として機能させ、

前記表示制御手段を、前記表示された電子メールのうち、ユーザによる選択操作を受け付けた電子メールに適用された中継制御ルールの内容を表示する手段として機能させるためのプログラム。

【請求項 2】

電子メールに適用する中継制御ルールを記憶する記憶手段を備える情報処理装置を、前記記憶手段に記憶された中継制御ルールを電子メールに対して適用することで、前記電子メールに対する中継制御テスト処理を実行するテスト処理手段と、

前記テスト処理手段により中継制御テスト処理が実行された電子メールについて、当該電子メールに対する中継制御結果と対応付けて表示制御手段として機能させ、

前記表示制御手段を、前記表示された電子メールのうち、ユーザによる選択操作を受け付けた電子メールに適用された中継制御ルールの内容を表示する手段として機能させるためのプログラム。

【請求項 3】

前記表示制御手段を、さらに、前記ユーザによる選択操作を受け付けた電子メールの内容を表示する手段として機能させるための請求項 1 または 2 に記載のプログラム。

【請求項 4】

電子メールに適用する中継制御ルールを複数記憶する記憶手段と、

前記記憶手段に記憶された中継制御ルールを電子メールに対して適用することで、前記電子メールに対する中継制御テスト処理を実行するテスト処理手段と、

前記テスト処理手段により中継制御テスト処理が実行された電子メールについて、当該電子メールに適用された中継制御ルールを示す情報と対応付けて表示する表示制御手段と

、

を備え、

前記表示制御手段は、前記表示された電子メールのうち、ユーザによる選択操作を受け付けた電子メールに適用された中継制御ルールの内容を表示することを特徴とする情報処理システム。

**【請求項 5】**

電子メールに適用する中継制御ルールを記憶する記憶手段と、

前記記憶手段に記憶された中継制御ルールを電子メールに対して適用することで、前記電子メールに対する中継制御テスト処理を実行するテスト処理手段と、

前記テスト処理手段により中継制御テスト処理が実行された電子メールについて、当該電子メールに対する中継制御結果と対応付けて表示制御手段と、

を備え、

前記表示制御手段は、前記表示された電子メールのうち、ユーザによる選択操作を受け付けた電子メールに適用された中継制御ルールの内容を表示することを特徴とする情報処理システム。

**【請求項 6】**

電子メールに適用する中継制御ルールを複数記憶する記憶手段を備える情報処理装置における情報処理方法であって、

前記情報処理装置のテスト処理手段が、前記記憶手段に記憶された中継制御ルールを電子メールに対して適用することで、前記電子メールに対する中継制御テスト処理を実行するテスト処理工程と、

前記情報処理装置の表示制御手段が、前記テスト処理工程により中継制御テスト処理が実行された電子メールについて、当該電子メールに適用された中継制御ルールを示す情報と対応付けて表示する表示制御工程と、

を備え、

前記表示制御工程は、前記表示された電子メールのうち、ユーザによる選択操作を受け付けた電子メールに適用された中継制御ルールの内容を表示することを特徴とする情報処理方法。

**【請求項 7】**

電子メールに適用する中継制御ルールを記憶する記憶手段を備える情報処理装置における情報処理方法であって、

前記情報処理装置のテスト処理手段が、前記記憶手段に記憶された中継制御ルールを電子メールに対して適用することで、前記電子メールに対する中継制御テスト処理を実行するテスト処理工程と、

前記情報処理装置の表示制御手段が、前記テスト処理工程により中継制御テスト処理が実行された電子メールについて、当該電子メールに対する中継制御結果と対応付けて表示制御工程と、

を備え、

前記表示制御工程は、前記表示された電子メールのうち、ユーザによる選択操作を受け付けた電子メールに適用された中継制御ルールの内容を表示することを特徴とする情報処理方法。

—

—

—